

「第26回 緑の育成と樹木保護保存セミナー」を開催しました

11月4日、池田町八幡公民館において、「第26回緑の育成と樹木保護保存セミナー2018」を岐阜県緑の博士（グリーンドクター）協議会と共催で、「身近な緑を大切に ～プロから学ぶ樹木管理～」をテーマに次のとおり開催しました。

- | | | |
|----|--------------------|-----------------|
| 座学 | 1 樹木（植木庭木）の生態 | 講師：坂井 幸康（GD2A級） |
| | 2 庭木の管理について | 講師：竹中 辰夫（GDA級） |
| 実技 | 剪定教室（実際に剪定を行ってみる。） | 講師：庭師の皆さん |

身近な緑である庭木の管理については、木の正面をよく見て形よく仕上げることを頭に描きますが、剪定する枝の選び方、或いは将来を見越して残す枝の選び方、残した枝の成長予測など、樹種ごとの特性を頭に入れて、あらゆる方向から木を見て剪定することが大事です。また、欠を入れる箇所についても、芽の付き方や花芽の有無などによって違いがあるなど、短い時間でしたが、庭師の皆様から指導やアドバイスをいただき、多くのことを学びました。

このセミナーは、来年度も開催しますので、皆様のご参加をお待ちしています。



樹木の生態の講義



刈込の説明（イヌツゲ）



生垣の刈込剪定（キンメツゲ）



剪定作業（イヌマキ）



すかし剪定作業（モミジ）



花芽などのポイント説明（ツバキ）

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】

平成30年度 森の名手・名人認定証伝達式が行われました

今年度の「森の名手・名人」に認定された伊藤 勉さんへ、尾藤 義昭 公益社団法人岐阜県緑化推進委員会会長（岐阜県議会議員）から 高井 哲郎 林政部長の立会のもと、認定証をお渡ししました。伊藤 勉さんのプロフィールは次のとおりです。

森の名手・名人に認定された方

伊藤 勉さん（85才） 各務原市 **森づくり部門**（苗木生産）

昭和37年から山林種苗の生産を始められ、昭和52年から各務原山林種苗組合の組合長を務められています。酸性度の高い黒色土壌（黒ボク土）を改良しながら圃場を整備し、根切りや床替え等、適切な管理を行い、55年以上にわたって山行苗の生産を続けられ、コンテナ苗の生産にも取り組まれています。現在では、息子さんやお孫さんと共に、三世代で苗木生産に励まれています。

■認定証伝達式



写真 左から尾藤会長、伊藤さん、高井林政部長

「森の名手・名人」とは

森や山に関わる樵（きこり）、マタギ、炭焼きなどの生業において優れた技を極め、他の模範となっている達人について、「森づくり」「森の恵み」「加工」「森の伝承・文化」の4部門を設けて、公益社団法人国土緑化推進機構が「森の名手・名人」に認定しています。

なお、平成14年度から始まった「森の名手・名人」の認定は、今年度でひとまず終了し、来年度からは形を変えて実施される予定です。

平成30年度現在の認定状況

全国の認定者数…………… 1,404名（本年度76名）
岐阜県の認定者数…………… 51名（本年度 1名）全国3位

【公益社団法人岐阜県緑化推進委員会 専務理事 黒崎 隆司】